

コンクリート構造物を劣化要因から保護する

けい酸塩系表面含浸材

RPプロテクションN

「RPプロテクションN」は主成分のけい酸ナトリウムがコンクリート内部まで浸透し、コンクリート中の石灰と反応、C-S-Hゲルを生成しコンクリートを緻密化することでコンクリートの劣化要因である炭酸ガス・塩化物イオン・水分等の侵入を抑制し、コンクリート構造物を中性化・塩害等から保護します。

製品の特長

- 中性化抑制
雨水・炭酸ガスの侵入を低減し、中性化の進行を抑制します。
- 塩害抑制
塩化物イオンの侵入を低減し、鉄筋腐食を抑制します。
- 防水性
コンクリートを緻密化することにより、躯体への水の侵入を抑制します。
- 耐摩耗性
コンクリート表層が緻密化され、耐摩耗性が向上します。
- 安全性
水質基準に関する省令の水質基準値に対応しており、水道施設や水路等に使用可能です。（試験方法：JWWA Z 108 2016）

適用部位

コンクリート構造物（橋梁・トンネル・導水路・擁壁など）

塗布量・塗布回数

- 塗布量
0.2 ℓ/m² (0.24kg/m²)
- 塗布回数
1回

荷姿

5 ℓ・15 ℓ/缶

改質効果

試験項目	試験値
透水比	39%
吸水比	65%
中性化深さ比	67%
塩化物イオン浸透深さ比	84%

性状

外観	無色ないし微乳白色液体
pH	11.9
比重	1.2
モル比	2.5

株式会社レゾナック建材

施工フロー

下地処理

コンクリート施工面のごみ・汚れ等をブラシや高圧洗浄機等で除去清掃を行い、清水で洗浄をしてください。

表面乾燥

コンクリート表面に浮き水がなく、わずかな濡れ色が残っている状態で乾燥させてください。
※含水率5~7%が目安

含浸材塗布

RPプロテクションNをローラー・刷毛・噴霧器などを用いて所定量(0.2 l/m²)を塗布(噴霧)してください。
※1回で所定量を塗布できない場合は、数回に分けて塗布してください。

養生

塗布後30~60分間は乾燥しないように湿潤状態を保つようにしてください。乾燥する恐れがある場合は噴霧器等で適度に散水を行ってください。
※夏季や直射日光が当たる箇所は特に乾燥しないよう注意してください。

洗浄

60分程度養生をした後に高圧洗浄機、ブラシ等で表面の余剰成分を除去してください。余剰分が残存していると白化する場合があります。

【施工上の注意】

- ◇気温が5℃以下35℃以上、湿度が85%以上の場合は施工を中止するか、適当な施工改善処置を行ってください。
- ◇施工中及び施工後、乾燥前に降雨・降雪の恐れがある場合は施工を中止してください。
- ◇取り扱い時は保護具(保護手袋・保護メガネ・保護マスク等)を着用してください。

【応急処置】

- ◇吸引した場合：新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ◇皮膚に付着した場合：皮膚を水又はシャワーで洗い流して下さい。汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯してください。
- ◇眼に入った場合：清浄な水で数分間注意深く洗ってください。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けてください。
- ◇飲み込んだ場合：水で口をすすがせ、無理に吐かせず、医師の診断を受けてください。

【保管上の注意】

- ◇凍結や直射日光を避けるために必ず室内(5℃~40℃)に保管してください。
- ◇購入した製品は3ヶ月以内に使い切ってください。

【輸送上の注意】

- ◇運搬に際しては内容物の漏れがないことを確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。

【廃棄上の注意】

- ◇使用済みの内容物や容器については、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託してください。

【データ等記載内容についてのご注意】

- ◇記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値等に基づくもので保証値ではありません。
- ◇ご使用に際しては、事前にテストを行い、使用目的に適合するかを確認してください。

記載内容は2024年1月現在のものです。製品改良のため断りなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

取り扱う前に「施工要領書」をご確認ください。また安全上の注意事項の詳細については「SDS」をご参照ください。